

日進おりど病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究は、対象となる患者様から直接同意を得て行う研究ではなく、研究の情報を公開することが必要とされている研究です。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査
研究機関名	医療法人大医会 日進おりど病院
研究機関の長	病院長 遠藤 茂夫
研究責任者	藤田 浩史
研究目的・意義	<p>日本消化器内視鏡学会は、消化器内視鏡に関連した偶発症を1983年から5年毎に、これまで6回にわたり全国的に調査を行ってきました。6回目の調査は2008年から2012年まで行われ、その結果は2016年に本学会誌に公表されています。この実態を知ることは、安全かつ効果的な消化器内視鏡診療の遂行に欠かせないものであり、日本消化器内視鏡学会としては近年の実態についての調査が必要と考えています。</p> <p>一方、これまでの5年間をまとめた調査では前方視的調査と比べて偶発症頻度にかかなりの較差があることが判明しました。そのため今回の「消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査」では、発生した偶発症については、調査期間を短く任意設定した前向き調査、ならびに、重症事例調査として、任意に設定した調査期間の3年以内に起こった重症事例を後ろ向きに調査し、従来の調査に比してより実態に近い調査を施行することとしました。本研究では、上記の前向きおよび後ろ向きの結果を併せて検討し、消化器内視鏡に関連した偶発症の実態を明らかにする事を目的とします。</p>
研究方法	<p>本研究は、各施設で任意に設定した調査期間中(1週間)に発生した、消化器内視鏡に関連した偶発症(①術者側の事故数、②前処置と感染に関する偶発症発生数、③消化器内視鏡の検査総数および偶発症発生数(生検を含む観察のみ)、④内視鏡治療の実施例数および偶発症発生数、⑤腹腔鏡における検査および治療総数と偶発症発生数(外科治療を除く)、および、発生した偶発症の詳細についてケースカードに入力し、データを収集します。また、任意に設定した期間から遡って3年以内に発生した重症事例についても調査します。なお、データについては日本消化器内視鏡学会で集約し、解析の上公表いたしますが、個々人の情報別に示されることはありません。また、重症事例の調査は、設定した1週間から遡った3年間を調査期間といたします。</p>
研究期間	2020年4月1日から2020年7月30日の任意の1週間とします
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名・住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究結果は学会や論文などで発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	電話 0561(73)7771 医療法人大医会 疫学・臨床研究倫理審査委員会事務局(渉外企画室 清水)
備考	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 * 試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合も上記お問い合わせ先に問い合わせてください。